

支援は御「縁」から「始」まります。私たち4人の支援専門員が「縁」あって
支援をさせていただくことから「支援→始縁だより」と名づけました。



始縁だより



発行 平成26年4月号

梅や水仙、葉の花が美しい季節となりましたね。
まだ花冷えの寒さがありますので、お身体に気をつけて
ステキな花の季節を楽しんで下さいね。



【仁淀川町 Yさんの水彩画】

～幸福感～

幸福感って何だろうな・・・自分や家族が幸せを感じて
生活することから始まり、周りの人の幸福感も高まるよう
に関わっていくには・・・研修で「人が幸せを感じる時」
というお話を聞く機会があったので紹介します。

●静岡県立静岡がんセンター総長 山口建 氏 のH25.12月の講演内容より

人が幸せを感じる時は、身体的能力、人、物を獲得していく時が多いだろう…反対に不幸を感じる時は、獲得したそれらを失う時が多いだろう…しかし、辛い状況にあっても豊かな心を獲得することで、不幸を補う事ができる。豊かな心と知恵を使って生きがいを作っていく事ができる。

「辛」の字に棒を1本入れると「幸」になる。人の心には、辛さと幸せを切り替えるスイッチがある。医療や介護の現場では、一人一人のそのスイッチを知る事が必要。辛くても励ましがあると心が明るくなる。悔いを残さない。心は存在しない臓器。介護、医療現場でも人の心、生きがいを大切にしたい関わりを持とう。

●人づきあいと幸福度の関係（H23年30才～89才の全国の抽出男女763名の調査結果） 第一生命経済研究所 小谷みどり 氏 のホームページ掲載文献より抜粋

困った時に、家族が頼りになる人とそうでない人とでは、本人が感じる幸福度に大きな差がある。地域から孤立している高齢者が少なくないことは、種々の世論調査でも指摘されているが、調査から、地域への愛着度合いが高い人、近所に信頼できる人がいる人ほど幸福度が高いことが明らかになった。地域の交流促進は特に高齢者の生活の質の向上には重要なのではないかとと思われる。家族に限らず、友人や近所の人たちなど、人との絆や信頼する心が醸成されているかどうか、幸福感を高める大きな要素であると言える。

★お知らせ： H26.4月から消費税が5%→8%に上がるに伴い、介護保険制度の負担限度額、サービス利用金額も上がります（一部変更のないものもあります）